

南アフリカ為替週報

2023年6月1日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<過去1週間の動き>

(5月25日～5月31日)

USD/ZAR: 19.2385～19.8672

ZAR/JPY: 7.05～7.25 (参照値)

先週1週間の南ア・ランド相場は対ドル、対ユーロで再び下落。対ドルでは市場最安値を更新した。ランドはロシアへの武器供給疑惑や電力不足の懸念から5月8日から12日の週に急落して以降、1週間の小休止を経て再び下落圧力が強まっている。南アフリカ準備銀行(SARB)による追加利上げ後にむしろ通貨安が加速する格好となった。

SARBは5月25日の会合で市場予想通り50bpの追加利上げを実施し、政策金利を8.25%に引き上げた。2会合連続の50bp利上げは2008年以来となる。同時に発表された経済予測では、インフレ率の見通しが2023年10-12月期から2024年1-3月期にかけて0.3%ポイント引き上げられている。さらに、クガニャゴ総裁は、インフレ加速リスクや南ア企業による海外資金調達ニーズを考慮すれば、一段と通貨安が進む可能性が高いと発言している。この発言は、通貨安に伴う輸入物価の押し上げリスクに警鐘を鳴らし、追加利上げに理解を求める意図があったと見られるが、市場の反応を見る限り、むしろ通貨安圧力に火をつけてしまったようにも思われる。これは想像にすぎないが、コンピューターでの取引ではこの発言が「SARBによる通貨安容認」として機械的に受け止められた可能性があるだろう。

短期金利市場では、なおも年末までに追加で50bpの追加利上げが織り込まれた状況が続いている。総じて、今回のSARBの金融政策発表は市場の想定並みにはタカ派的であったと言えよう。それに関わらずランドが一段と下げ足を速めている要因として、上述の「コンピューター取引」の可能性も挙げられるが、それ以外には、追加の大幅利上げが景気を一段と冷え込ませるリスクが意識されている可能性や、インフレ期待の高進に伴い追加利上げにも関わらず実質政策金利がさほど上昇していないことも影響しているように思われる。

その他の経済指標では、5月31日に4月分の貿易収支が発表された。結果は35億ランドの黒字と、5億ランドの黒字を見込んでいた市場予想を上回ったものの、2021年から2022年にはコモディティ価格の高騰で毎月数100億ランドの黒字を計上していたことを考慮すれば、通貨のサポート要因とはみなしにくい。むしろ、第一次所得収支の大幅赤字を背景に、2023年は南アの経常赤字が定着する可能性が高く、需給面からもランド売りは継続しそうだ。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/25		政策金利発表		8.25%	8.25%	7.75%
5/30	13:00	財政収支(10億ランド)	4月	-67.0b	-67.5b	-46.1b
5/31	13:00	貿易収支(10億ランド)	4月	0.5b	3.5b	6.3b

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(6月1日～6月7日)

USD/ZAR: 18.90～20.10

ZAR/JPY: 6.80～7.20

先行きも、南ア・ランドに対する下落圧力は続くだろう。SARBは通貨安に伴う輸入インフレの高進を抑える必要もありタカ派姿勢を示しているものの、計画停電に伴う景気の減速リスクやインフレ押し上げリスクを考慮すれば、一段の政策金利引き上げをもって素直にランド買いとはなりにくい。また、外部環境も逆風となっている。米インフレ懸念の再燃に伴う米金利上昇・ドル高や、南アの最大の貿易相手国である中国の景気の先行きに対し懸念が強まっていることも、ランド相場にとって重石となろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

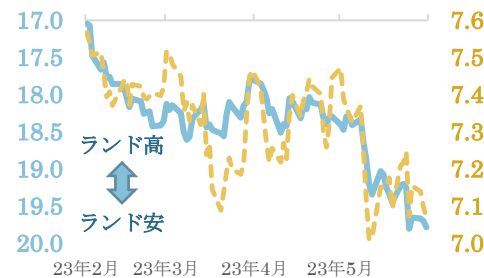
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/1	12:00	電力消費(前年比)	4月			-4.5%
	12:00	電力生産(前年比)	4月			-5.6%
6/6	10:30	実質GDP(前年比)	Q1			0.9%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

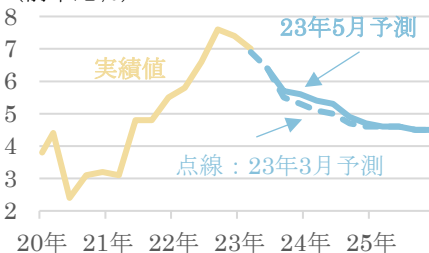
実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



南アフリカ準備銀行 インフレ見通し

(前年比%)

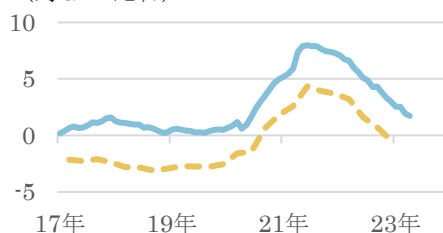


南アフリカ貿易収支・経常収支(*)

実線: 貿易収支

点線: 経常収支

(対GDP比%)



* 12か月累計値対GDP比率

(資料:ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

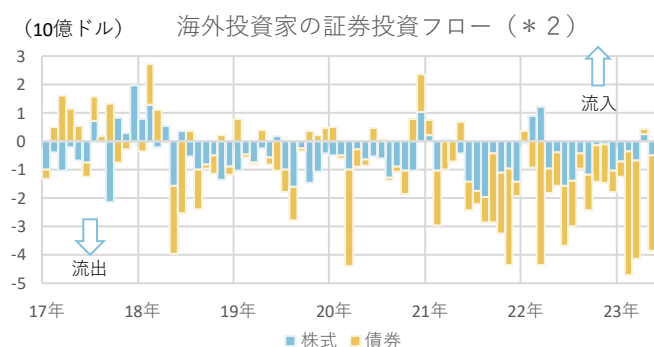
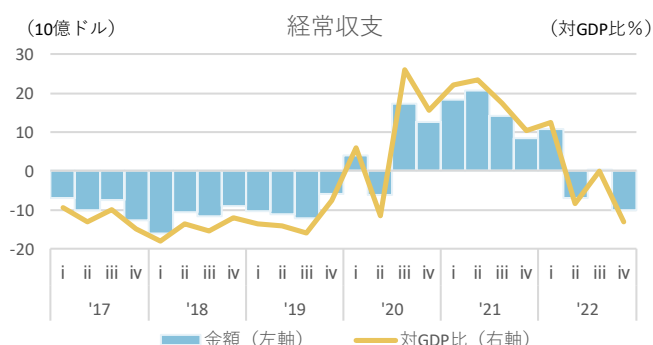
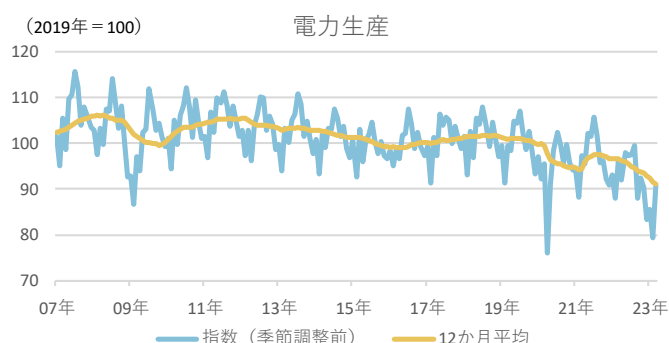
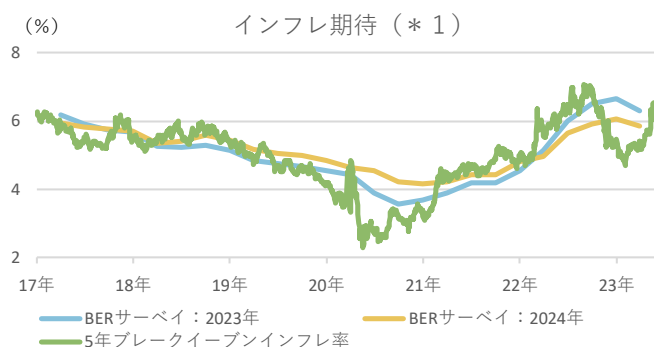
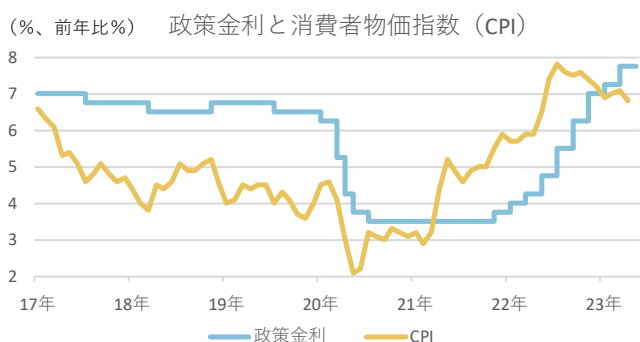
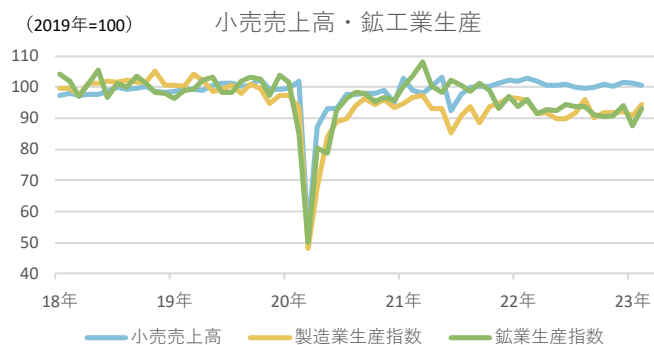
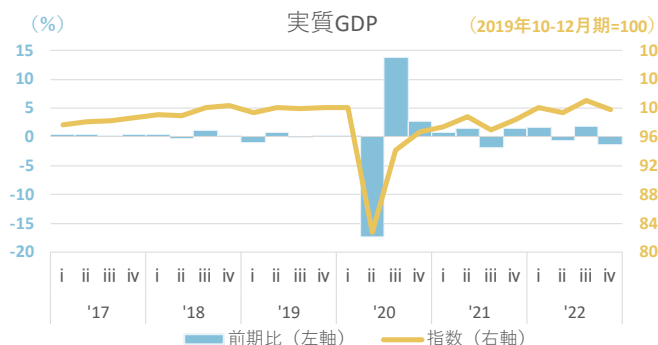
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年6月1日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

＜主要経済指標の推移＞



- * 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。
経済アナリストや企業などが調査対象となっている。
ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。
- * 2 : 月次データ。ただし、2023年5月は1日から30日までの累計値。

(資料：南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルグ証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。